

公益財団法人 新潟県国際交流協会

# NIA LETTER

Niigata  
International  
Association

vol.28  
2024.11

2024年度留学生交流  
推進員と活動の様子



Contents

特集  
P2

## 留学生からみた新潟って？

- ◆ NIAインフォメーション  
新潟県地域おこし協力隊 活動報告
- ◆ NIA活動レポート
- ◆ 新潟県外国人総合相談センター 外国人相談の窓から



発行：公益財団法人 新潟県国際交流協会

〒950-0078 新潟県新潟市中央区万代島5番1号 万代島ビル2階 TEL:025-290-5650 FAX:025-249-8122

E-mail: nia21c@niigata-ia.or.jp

Webサイト: <https://www.niigata-ia.or.jp>



「新潟県」と聞いて、何を思い浮かべますか？お米、日本酒、スキーなど有名なものはたくさんありますが、外国人留学生からみた「新潟県」は、どんな印象なのでしょう？

今号では、当協会の留学生交流推進員(※)に登録している留学生4名に新潟県についてさまざまな質問をしてみました！

※(公財)新潟県国際交流協会では、国際交流活動等に意欲がある県内の外国人留学生を「留学生交流推進員」として登録しています。詳しくは4ページへ

## セキ ニンゲツ

中国出身 新潟大学



石人月(セキニンゲツ)と申します。中国山西省出身で、現在は新潟大学大学院博士後期課程2年生です。新潟への留学を選んだ理由は、幼少期から日本のアニメを見ていたこともあり、日本文化への興味が強く、いずれその文化を日本に行って実際に体験したいとずっと思っていました。中国の大学へ進み、交換留学先の台湾で教育や文化の違いなどに触れ、文化交流の重要性を感じたこと、新潟大学で日中交流を研究している教授がいることを知り、新潟県を留学先を選びました。今は、私の研究テーマである日中の交流教育と比較教育をその教授のもとで学びながら研究をしています。

## Q1 新潟県民は留学生からみてどんな特徴や印象がありますか？

A. 皆さんすごく優しくて親しみやすいです。まるで、隣人や知り合いのような温かさを感じます。

## Q2 新潟に来て不思議に思った出来事がありますか？

A. はい、新潟に来て驚いたことが2つあります。一つ目は、「おいしいお水」です。東京から新潟に向かう新幹線を利用しているとき、誰かが「新潟の水はととてもおいしい。」と話しているのを聞きました。新潟に到着し水を飲みましたが、どれほどの違いがあるのか、そのときはわかりませんでした。しかし、今年の秋に母国から新潟に戻って水を飲むと、確かに他の地域と比べて新潟の水がおいしく、柔らかく甘みがあることを実感しました。また、地元の人から川の合流点や流れる地域によって、水のおいしさが変わると教えてもらったので、機会があればその水をぜひ飲んでみたいと思っています。二つ目は、「積雪と消雪パイプ」です。道路に設置されている消雪用のパイプがとてもユニークで、これは他の県でも見たことがなかったので、とても興味深かったです。

## グエン スアン ルオン

ベトナム出身 新潟食料農業大学



私の名前はグエン・スアン・ルオンです。ベトナム出身で、現在、新潟食料農業大学で勉強しています。新潟県を留学先を選んだ理由は、農業において非常に優れた地域であること、そして美しい自然環境に囲まれていることからです。新潟はお米や日本酒の生産地として有名で、高く評価されています。

また、新潟の人々はとても親切で、地元の文化や食事も魅力的です。日本の農業を学びながら、異なる文化を体験できることは貴重な機会です。新潟での生活を通じて、専門知識を深め、さまざまな人々と交流し、新しい視点を得ることを楽しみにしています。

## Q1 新潟に来て不思議に思った出来事がありますか？

A. 天候の変化が激しいことです。日中気温が高く暑い日だったのに夜は冷え込んだり、雨の影響などで急に寒くなることがあるので、とても驚きました。その一方で、私は新潟の気候がとても好きです。ほぼ一年中ひんやりとした感じがあって、とても快適で特別な気分になります。四季の変化を感じながら過ごせるのが新潟の魅力の一つだと思います。

## Q2 これから新潟でやってみたいことはありますか？

A. アルビレックス新潟の試合を見に行き応援することです。毎回、試合のたびに多くの人がチームのユニフォームを着て、盛り上がっているのを見て、とても楽しそうだと思いました。スタジアムの活気やファンの熱気を直接体験し、選手たちを応援できることを心から楽しみにしています。



## シェロワ サルビノズ スンナト キジ

ウズベキスタン出身 事業創造大学院大学



私の名前はシェロワ・サルビノズ・スンナト・キジです。みんなからサラと呼ばれています。ウズベキスタン出身で、事業創造大学院大学の2年生です。以前からずっと日本に留学したいと思っていましたが、私は海が大好きなので日本海の美しさに一目惚れし、新潟県を留学先を選びました。日本人にとっては普通の風景かもしれませんが、私の出身国は内陸のため海に面しておらず、水不足にも直面しているので海の価値は非常に高く感じられます。

また、日本へ留学しようと考えていたとき、日本のどこに留学するかを友人に相談したことがあります。そのとき友人は「新潟県は主要都市に比べ外国人が少なく、ウズベキスタン出身者もほとんどいないかもしれない。」と話していました。私はこのような状況でも新しい地で挑戦していこうと思い新潟県を選びました。そして、今は新潟県を選んで良かったと思っています。

### Q1 留学生からみた新潟の魅力は何かありますか？

- A. 新幹線に乗ると、新潟はまるで「アジアのスイス」のように感じます。晴れた日に高いところに登ると、海と山の両方が見える贅沢な景色が広がるのが大好きです。
- そして、おいしい食文化と優しい人々も新潟の大きな魅力でしょう。新潟のお米や日本酒、新鮮な海の幸はどれも絶品ですし、より一層素晴らしい場所にいると思います。また、田んぼの広さとチューリップも印象的です。新潟はたくさんの魅力があり、まるで「海の宝箱」のような場所だと思います。

### Q2 新潟の方言で知っているものはありますか？

- A. 新潟の方言で知っているものは「しょうしい」です。友人と会話しているときに初めて聞きました。独特な響きに驚いたのと、説明を受けるまで「恥ずかしい」という意味だとわからなかったです。それ以来、私も「しょうしい」をよく使っています。

## グエン フィ ヒエップ

ベトナム出身 長岡技術科学大学



私の名前はグエン・フィ・ヒエップです。ベトナム出身で、長岡技術科学大学に留学しています。私はエネルギーの効率的な活用や環境保護について研究しており、長岡技術科学大学が技術分野に優れている大学と聞いて、留学しようと思いました。

また、すでに新潟県で学んでいる先輩たちから聞いた、新潟の美しい自然と豊かな環境、大雪の話がとても印象的で、日本の自然や文化に興味がありました。特に長岡花火大会のようなお祭りや、米どころとしての評判も耳にしていたので、新潟県への関心が高まり、留学先として選ぶ決め手となりました。

### Q1 新潟県民は、留学生からみてどんな特徴や印象がありますか？

- A. 私が暮らす長岡市周辺の新潟県民は、親しみやすく開放的で、助け合いの心を持っているという印象があります。地元の人々が外国人に安心感を与え、地域社会に溶け込みやすくしてくれています。私は、留学生と地元の人々が一緒に野菜を育てる活動に参加したことがあり、農業のやり方を教えてくれるだけでなく、生活や文化についても話してくれました。時には、育てた野菜を使った料理を振舞ってくれたこともあり、こうした体験を通じて、新潟の人々の親しみやすさと素朴ながらも豊かな生活を感じました。

### Q2 新潟県民に伝えたい・発信したいことはありますか？

- A. 新潟の皆さんは、私や他の留学生に対して、いつも親しみやすく開放的で、助けてくれます。そのことに、私は深く感謝しています。地元のみみなさんと留学生との関係が、今後さらに深まることを願っています。そして、私たちは、新潟の文化や生活をより深く理解し、私たちなりの方法で地域の発展に貢献していきたいと思っています。

# 留学生交流推進員の紹介



## 留学生交流推進員とは？

(公財)新潟県国際交流協会では、国際交流活動等に意欲がある県内の外国人留学生を「留学生交流推進員(以下「推進員」)」として登録し、国際交流・国際協力・多文化共生事業を実施する県内の民間団体、市町村、学校のうち、留学生の協力参加を希望する団体等に対し、推進員の紹介を行っています。

2024年度は33名が登録し、日本語でのコミュニケーションはもちろん、さまざまな能力や特技を持った個性豊かな推進員が、県内の国際交流の活発化や多文化共生社会の推進に向けたお手伝いをしています。

留学生交流推進員について  
詳細はホームページをご覧ください▶



## 依頼から派遣までの流れ

- 1 事業実施3週間前までに「留学生交流推進員紹介依頼書」を協会へ提出する
- 2 協会担当者が日時、活動場所などを確認し、活動可能な推進員を募集する
- 3 協会担当者から依頼者へ派遣が決定した推進員を紹介する
- 4 依頼者は推進員と直接連絡をとり、当日の詳細などを相談する

※派遣について活用要領、留意事項があります。  
詳細は左の二次元コードからホームページを確認してください。

## 2024年度 活動の様子

### 国際交流キャンプin胎内

毎年、新潟県少年自然の家で、県内の中高生と留学生が1泊2日のキャンプを通し、国際交流と異文化理解を図る「国際交流キャンプin胎内」が開催されています。

令和6年度は、12名の留学生交流推進員が参加し、うどん打ち体験やキャンプファイアなどを中高生と一緒に体験しました。

2日目には交流会が開かれ、留学生たちが1人ずつブースで出身国の遊びや文化体験を行いながら交流し、親睦を深めていました。



<交流会の様子>

### Welcome to Ono Elementary School

新潟市立大野小学校5、6年生を対象に、留学生交流推進員が自国の文化や観光名所などについて紹介しました。

この活動では、参加児童からも推進員に向け日本の紹介をする時間が設けられており、お互いの文化を知って理解を深める授業となりました。活動に参加した推進員は「参加児童のみなさんが自分のプレゼンで母国に興味を持ってくれたのが嬉しかったです。すばらしい体験ができました。」と話してくれました。



<参加児童からの質問に答える留学生>